

## 【令和7年度自己点検評価】

### 1、評価表

- ・評価項目 : 8領域 38項目
- ・評価尺度 : 5段階 5;よい 4;ややよい 3;普通 2;やや不十分 1;不十分

### 2、実施者と評価領域

- ・教員 : 全領域
- ・管理部職員 : IV、V、VI領域

### 3、全体の結果

令和5～7年度のカテゴリー別評価平均の推移(表1、図1)は、3年間ほぼ同じ傾向でした。令和7年度の結果をみると、平均が普通以上は、IV学校経営が3.7、V管理運営・財政が3.4、I教育課程・教育活動が3.3、III入学・卒業とが3.2、II学生生活への支援3.1でした。また、平均が普通未満は、VIII地域との連携が2.9、VII教職員の育成が2.8、VI施設・設備が2.2でした。

表1: 令和5～7年度自己点検評価

評価領域	平均点		
	R5	R6	R7
I 教育課程・教育活動	3.5	3.4	3.3
II 学生生活への支援	3.3	3.5	3.1
III 入学・卒業	3.4	3.4	3.2
IV 学校経営	3.4	3.5	3.7
V 管理運営・財政	3.5	3.5	3.4
VI 施設・設備	2.6	2.3	2.2
VII 教職員の育成	2.8	3.0	2.8
VIII 地域との連携	2.5	2.7	2.9

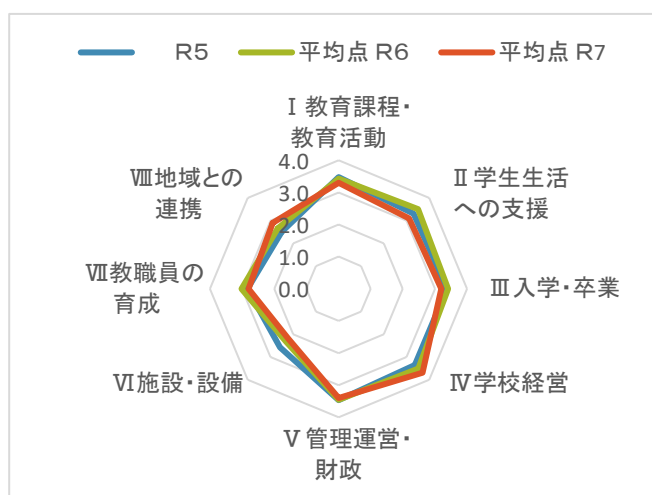


図1: 令和5～7年度自己点検評価

### 4、考察

今年度も昨年同様感染防止対策を講じながらの1年間でしたが、カリキュラム運営や学校生活はコロナ渦以前に戻りました。また、新カリキュラム運用で2回目の卒業生を輩出しました。昨年度に引き続き改善点がより明確になり、充実したカリキュラムを目指し一部学則変更を行いました。

教職員の自己点検評価の結果から気になる評価項目として評価領域IIの「学生生活への支援」が昨年より0.4低かったことです。当校の学生は学力も含め多様化しており、教職員それぞれ個別に合わせた対応を行っています。今後学習面の支援では、チューター制や国試対策を充実させ知識の定着を図りたいと考えております。またメンタル面の支援では、外部講師の助言の活用、経済面の支援では、高等教育の修学支援制度の対象校となる準備を進めています。

評価領域VI「施設・設備」は昨年より0.3低くなりました。毎年教材購入していますが、中には型が古い物や劣化した物もあり順次新しい物に交換しつつ、指定規則に準じ適切な器械器具・図書等の管理をしてきたいと考えています。

今年度は、学校行事を制限せずすべて従来のスタイルにしました。普段見られない学生の笑顔や積極的な行動が見られました。その結果が評価領域VII「地域との連携」に反映されたと考えます。